

### 3 水道用水供給事業

#### (1) 経営基盤の強化

改革事項	民間委託の徹底などによる吉見浄水場の簡素で効率的な管理運営	行動目標	民間委託の業務範囲の拡大を図るなど、先進的かつ簡素で効率的な管理運営体制を構築する。			
	14	15	16	17	18	
(行動計画)						
1 技術部門においては運転管理に加えて保守点検等を、水質部門においては日常水質検査等を委託化するとともに、これらを可能な限り一括して委託する。	☆吉見浄水場管理運営の検討			[吉見浄水場開場] ☆水道事務所(仮称)設置(職員の再配置)		
2 浄水場の管理運営業務は、水道建設事務所を改組した水道事務所(仮称)の所管とし、浄水場には技術・水質部門の管理監督要員を配置する。	・民間委託業務内容及び管理体制検討		・水道事務所(吉見浄水場)の組織体制検討			
		・業務運営マニュアルの策定		☆民間委託の実施 ・運転管理業務全面委託(技術関係及び水質関係の一部)		
改革指標・目標数値	改革効果(見込み)					
民間委託拡大による年間経費縮減額(直轄方式の比較)	△ 30百万円以上/年 (H17~18 △ 60百万円以上)					
組織統合による効率化人員(組織統合なしの場合との比較) 5人以上	△ 50百万円以上/年 (H17~18 △ 100百万円以上)					
※ 管理職・技術の効率化人員、委託拡大による人員減殺、						

改革事項	既設浄水場の効率的な管理運営	民間委託の拡大等による業務の効率化を徹底し、浄水場の管理運営経費の削減を図る。
(行動計画) 1 庄和浄水場及び新三郷浄水場については、管理室業務を委託する方向で検討するとともに、水質管理業務の一部を委託する。 2 電力消費や薬品注入量の適正化を進めるとともに、設計積算要領に定める歩掛かりの見直しを行う。 3 上記1・2を踏まえ既設浄水場の運用管理に係る効率化計画を策定し、総合的に業務の効率化を進める。	14 ☆既設浄水場運用管理に係る効率化計画策定 (効率的な水質検査体制確立計画策定)	15 ☆効率化計画の段階的実施 (・薬品管理の委託化)
改革指標・目標数値(H13基準) 既設浄水場維持管理費 $\% / m^3$ H18 5%削減 (H13:14.49円/ $m^3$ -H18:13.76円/ $m^3$ ) [各年度削減目標] H14(1%)・H15(2%)・H16(3%)・H17(4%) ※水質管理センターを含む	14 ☆送水圧力調整(適正化)マニュアル策定 ☆設計、積算歩掛かりの見直し	16 (・水質検査業務の一部委託化)
	17 (効率的な水質検査体制確立) ☆運転管理業務の委託化検討 (庄和・新三郷)	18

改革事項	経営状況に見合った施設の建設・設備改良	行動目標	15	16	17	18	各事業の緊急性と必要性の度合いに応じた事業進捗の調整を図るとともに、事業実施に当たっては一層のコスト削減に努める。
(行動計画)		14	15	16	17	18	
1 吉見浄水場二期工事と行田浄水場10万トン施設の建設工事について、本計画期間中は着手しない。	<p>経営的・効果的な投資と費用の平準化に配慮し、「新施設整備計画」及び「第5次業務設備整備計画」を策定する。</p> <p>「公共工事コスト削減対策に関する埼玉県新行動計画」に基づき、建設改良工事のコスト削減を一層促進する。</p>	<p>&lt;施設建設&gt;            ☆行田10万t、吉見II期等の先送り</p> <p>☆現行水道施設整備継続費の見直し等について検討</p> <p>&lt;設備改良&gt;            ☆大規模施設改良工事の見直し(大久保、庄和耐震補強工事等)</p> <p>☆第5次業務設備整備計画策定検討</p> <p>☆建設・設備改良工事のコスト削減</p>	<p>【新施設整備計画】            ☆継続費(H16～)等の設定</p> <p>☆事業変更認可(高度浄水処理含む)            ( )：継続水理</p> <p>(基本設計)</p> <p>(実施設計)</p> <p>(着工)</p>	<p>☆新施設整備計画を実施</p> <p>(基本設計)</p> <p>(実施設計)</p> <p>☆第5次業務設備整備計画策定</p> <p>☆第5次業務設備整備計画実施</p>			
2 新三郷浄水場への高度浄水処理の導入に当たっては、水質状況、経済性、効率性等を十分検討し、推進する。							
3 大久保、庄和浄水場水処理施設の耐震補強工事は、震災時に直接給水の用に該当する施設(浄水池、送水調整池)を優先して実施する。							
4 経済的・効果的な投資と費用の平準化に配慮し、「新施設整備計画」及び「第5次業務設備整備計画」を策定する。							
5 「公共工事コスト削減対策に関する埼玉県新行動計画」に基づき、建設改良工事のコスト削減を一層促進する。							
	改革指標・目標数値	改革効果(見込み)					
施設建設	進捗調整(H19以降見直し)	事業費用の平準化 経営への影響軽減化					
	69,700百万円	H14~18 △ 3,370百万円					
設備改良	コスト削減率(計画金額比)	5%削減					
	進捗調整(H19以降見直し)	事業費用の平準化 経営への影響軽減化					
	2,000百万円	H14~18 △ 1,429百万円					
	コスト削減率(計画金額比)	5%削減					

PFI手法による施設の建設・改良		PFI手法の導入を可能な限り推進する。	
改革事項	行動目標	14	15
(行動計画) 1 大久保浄水場排水処理施設更新事業について、平成14年にPFI手法を導入するか選択する。 2 PFI手法の導入を選択した場合は、平成15年度にPFI事業者を募集し、平成16年度から事業を実施する。	☆PFI導入検討、可否決定 (事業範囲特定、VFM確認) <導入可の場合> ・実施方針案作成	14	15
		実施方針策定及び公表 特定事業の評価・選定・公表 ・民間業者の募集	事業者の選定、交渉 ・契約交渉 ・事業者決定 ・協定等の締結 ・事業の実施
改革指標・目標数値 (導入可の場合) 可能な限り高いVFM	改革効果(見込み) 建設コスト及び管理運営費の縮減 事業費用の平準化	16	17
改革事項 浄水発生土の有効活用と減量化	行動目標 浄水発生土の有価物化と減量化を推進し、処分費を削減する。	14	15
(行動計画) 1 吉見浄水場の建設に合わせ園芸用培養土製造施設を建設し、製造販売を行う。 2 新三郷、庄和の各浄水場に乾燥ストックヤードを順次建設し、発生土の減量化を図るとともに販売の促進に努める。	☆園芸用培養土製造に係る民間との共同開発	14	15
		☆浄水発生土減量化 ・乾燥ストックヤード建設(新三郷) ・乾燥ストックヤード建設(庄和)	☆吉見培養土製造施設建設 ☆吉見培養土製造、販売
改革指標・目標数値 園芸用培養土(彩園君)製品化率(総社量/全社土)13% 乾燥ストックヤード建設による発生土減量化率(新三郷+庄和)10%	改革効果(見込み) H18～ 処分費 Δ 10,000t/年 H17～ 処分費 Δ 1,780t/年 (H16～18 処分費Δ 250万円)	16	17
改革事項 浄水発生土の有効活用と減量化	行動目標 浄水発生土の有価物化と減量化を推進し、処分費を削減する。	16	17

(3) 環境面への積極的な取組

改革事項		環境マネジメントシステムの構築		行動目標		ISO14001を早期に取得し、環境マネジメントシステムの構築に努める。			
(行動計画)		環境対策を積極的に推進していくため、新三郷浄水場をモデルサイトとして平成15年度中に国際規格であるISO14001の認証取得を図り、環境マネジメントシステムの構築をめざす。		14	15	16	17	18	
改革指標・目標数値		改革効果(見込み)		★ISO14001取得準備(新三郷)		★ISO14001取得		★ISO14001運用	
ISO14001の認証取得 (新三郷浄水場) H15		環境に配慮した運営体制の構築 可能な限りの環境負荷の低減		★ISO14001取得準備(新三郷)		★ISO14001取得		★ISO14001運用	
改革事項		省エネルギー対策の推進		行動目標		環境負荷の少ない新エネルギーの活用や各種省エネルギーの排出を削減する。			
(行動計画)		1 「埼玉県地球温暖化対策実行計画」に基づき、温室効果ガスとしての二酸化炭素の排出削減を図るため送水圧力調整をはじめ各種の省エネ対策を積極的に推進する。 2 太陽光エネルギーや既存施設の工夫活用による環境負荷の少ないエネルギーを設備投資額とも配慮の上、積極的に活用していく。		14	15	16	17	18	
改革指標・目標数値(H13基準)		改革効果(見込み)		★機器駆動減速方法変更による省電力化		★送水管路の圧力調整による省電力化		★吉見浄水場常用発電設備(建設+増設)の建設	
省電力量 H18 878kw/h		CO <sub>2</sub> 削減量 △2,950t-CO <sub>2</sub> /年 〔ドラム缶△5,578本(軽油換算)〕		★太陽光発電・インライン発電施設設置、運用(庄和)		★送水管路の圧力調整による省電力化		★吉見浄水場常用発電設備(建設+増設)の建設	
				★太陽光発電・インライン発電施設設置、運用(庄和)		★送水管路の圧力調整による省電力化		★吉見浄水場常用発電設備の稼働	

改革事項	浄水発生土搬出量の削減				行動目標			浄水発生土の搬出量を減量し、発生土運搬車両のCO <sub>2</sub> 排出量を削減する。		
(行動計画)	<p>新三郷、庄和の各浄水場に乾燥ストックヤードを順次建設し、浄水発生土の減量化を図る。  減量により発生土運搬車両に係るCO<sub>2</sub>排出量を削減する。</p>				14		15	16	17	18
改革指標・目標数値(H13基準) 浄水発生土の減量化率 (ストックヤード建設による) 10%	改革効果(見込み) H17～ Δ1,780t/年 ※CO <sub>2</sub> 削減量 H17 Δ3,139kg-CO <sub>2</sub> (H16～18Δ8,118kg-CO <sub>2</sub> ) [ドラム缶Δ15本(軽油換算)]					・乾燥ストックヤード建設(新三郷)	☆運搬車両CO <sub>2</sub> 排出量削減 ・乾燥ストックヤード建設(庄和)			